

不適切なケア気づきシート 記載方法

1.活用の目的

介護者から高齢者等に対して不適切なケアが行われていた場合、介護サービス事業者がサービス提供の中で、早期に発見し、適切な対応を行うことで、問題の重度化を防ぐことができる。

2.対象者

介護者等による不適切な対応が疑われる高齢者等

3.実施者

介護サービス事業者

4.シート活用の機会

アセスメント・モニタリング時

5.記入方法

- ①対象者氏名・記載日を記入する。
- ②記載者・事業所名・連絡先を記入する。
- ③項目に当てはまる箇所があれば、チェックする。
- ④その他、気づいたことがあれば、自由記載欄に記入する。

6.対応

複数項目に該当する場合や、虐待の兆候（あざ、体重減少、サービスの利用制限など）がある場合は、早期に担当ケアマネジャー及び高齢者の住む圏域の地域包括支援センターへ相談・報告してください。

虐待の相談や報告を行うことは守秘義務違反にはなりません。また、相談・報告を行った者及びその内容に関する秘密は守られます。